



筑波大学附属大塚特別支援学校

附属大塚 学校だより

令和4年度 第7号 2023年3月10日発行

筑波大学附属大塚特別支援学校 校長 川間 健之介

2022年度 学校評価アンケートの集計結果について

昨年12月に実施をしました、2022年度「学校評価アンケート」の集計結果につきまして、ご報告いたします。ご家庭の皆様からいただいた貴重なご意見を、次年度の学校運営・教育活動にしっかりと活かして参ります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

1. 概要: アンケートの回答数: 69件(回収率 95.8%)*昨年度 87.5%—昨年度 91.9%

内訳(幼稚部 9/9、小学部 21/22、中学部 19/18、高等部 20/23)

今年度は数年続いていたアンケート項目を社会情勢に応じて見直しました。評価尺度も、昨年度まで「どちらとも言えない」を真ん中においた5段階の尺度でしたが、今回からは4段階と「わからない」という選択肢の尺度に変更いたしました。また、回答方法はwebフォームのみとさせていただきます。実施したところ、特段混乱の報告もなく、回答率も安定(今年度は向上)しておりました。今後一定の年数はこの質問項目と評価尺度を使用して参ります。いただいたご回答については、選択項目、記述項目共に集計をし、校内で共有をしました。

2. アンケートの質問項目

2022年度「筑波大学附属大塚特別支援学校・学校評価アンケート」

【記号回答の評価の尺度】

A	B	C	D	※
そう思う (よくできている)	ややそう思う (できている)	あまりそう思わない (あまりできていない)	そう思わない (できていない)	わからない

1. お子さんの所属学部 幼稚部・小学部・中学部・高等部 (お子さんの所属学部をチェック)

2. 回答された方の氏名 (任意)

(3~15は記号でお答えください。)

3. 保護者(私)は、学校教育方針・目標、学校運営方針を理解している。

https://www.otsuka-s.tsukuba.ac.jp/page1_12.html ※アンケート後にHP改修を行いましたので新URLです。

4. 学校の様子は、連絡帳、学級だより、学校からのお便り、メール、ホームページなどからの情報でよく分かる。

5. 学校へ電話をかけたときや学校訪問した際の、教職員の対応が丁寧である。

6. 学級や学部の授業は工夫が見られ、達成すべき目標が分かりやすく設定されている。

7. 学級や学部のきまりが守られており(守ろうという促しがあり)、規律が整っている(規律を整えようとしている)。

8. 本校の幼児児童生徒は、表情が明るく生き生きと学校生活を送っている。

9. 学校行事は、社会情勢を踏まえつつ、学校生活や学習活動の成果を発揮できるよう設定されている。

10. 学校は感染症対策を適切に行っている。

11. 学校は施設設備の安全管理や美化清掃を適切に行っている。

12. 保護者面談では、個別の教育支援計画や、個別の指導計画の丁寧な説明がなされており、家庭と十分に共通理解が図れている。

13. 学校は、進路指導や将来を見据えた指導を計画的に行っている。

14. 学校と教職員は幼児児童生徒の人権を尊重し、適切に接している。

15. 本校の教育活動や発信する情報は社会に貢献している。

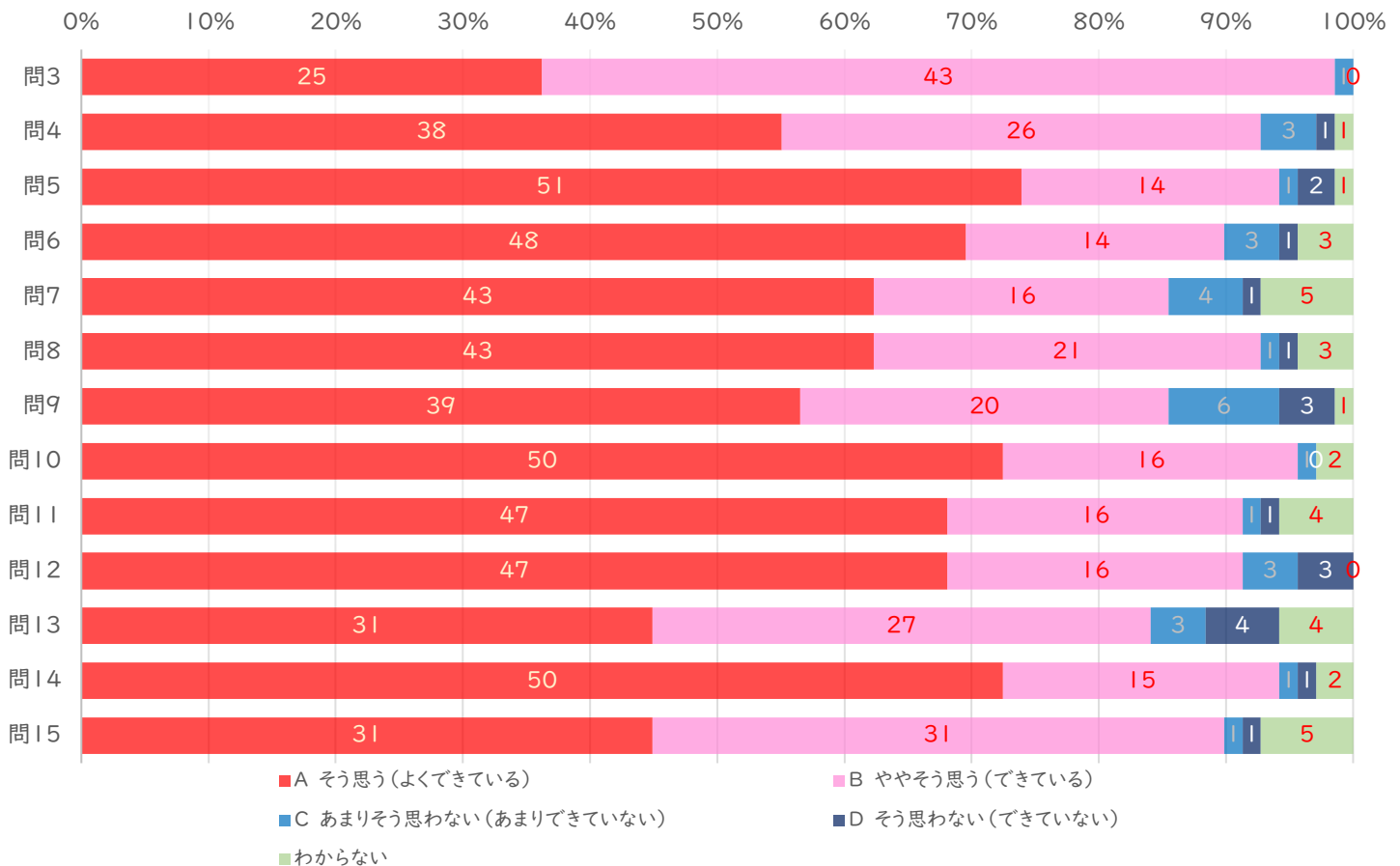
(16. 17は記述回答となります。)

16. 本校の教育活動の中で、特に評価できる点についてお書きください。(記述)

17. 本校の教育活動の中で、改善して欲しい点などありましたらお書きください。(記述)

3. アンケート集計(問3~15)

2022年度 学校評価アンケート集計 (問3~15) 保護者



4. 記号回答に関する考察

数値評価についてのご報告です。今回は在籍の95.8%という、高い割合でご回答をいただくことができました。ありがとうございました。設問の3~15が選択肢で答える質問でしたが、どの項目もAとBの肯定的な評価が80%を超えております。尺度のCとD、および「わからない」を合わせた評価が10%を超えた項目は3点ございました。

以下の3点については、これまでに行っている教育活動について説明が十分でない、もしくは方法等について改善が必要な項目であると捉えました。

○質問7: 学級や学部のきまりが守られており(守ろうという促しがあり)、規律が整っている(規律を整えようとしている)。

互いにきまりを守ることがよりよい社会づくりに貢献することを伝えていきます。価値観も多様化している現代社会ですが、児童生徒にとって、分かりやすく、守るべき価値を示し、肯定的に捉え実践できるよう、指導に盛り込んで参ります。

○質問9: 学校行事は、社会情勢を踏まえつつ、学校生活や学習活動の成果を発揮できるよう設定されている。

学校行事へのご期待とご要望が高いことを承知しております。社会情勢とは社会生活の変容・コロナ禍・学校の役割の変化・教員の働き方改革などをさしております。新型コロナが5類に移行したとしても、以前の通りの学校の活動に戻ることはありませんが、教育活動の重点化や新たな価値を付与した学校行事の創設など、検討を継続して参ります。

○質問13: 学校は、進路指導や将来を見据えた指導を計画的に行っている。

自分が希望する進路や、現在から将来までの生活について考える機会を、低年齢の段階から意図的に活動に盛り込んで参ります。高等部では、職業(作業)の学習を、より一層充実させられるよう準備・検討しております。また、ご家庭向けの情報提供や学習の機会の提供も継続して参ります。

5. 記述回答に関する考察

記述の項目は2点です。質問16、本校の教育活動の中で、特に評価できる点についてお書きください。(記述) 質問17、本校の教育活動の中で、改善して欲しい点などありましたらお書きください。(記述)。こちらにもたくさんのご意見を頂戴いたしました。本校の教育活動への共感やご賛同、励まし、感謝のお言葉。疑問点や改善を要望するお言葉。上記の3つの項目に関するいろいろな見解のお言葉など、多数お寄せいただきました。紙面の都合や個人情報保護の観点から皆様のご意見を原文でご紹介することはできませんが、今後の学校運営、教育活動を改善していくために、大切に活用させていただきます。

今年度の学校評価アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。